<u>IBM LPR Remote Printing Client for Windows 95</u> 導入手順書 (対象0S:MicrosoftWindows95/98/Me)

本ソフトウェア(IBM LPR Remote Printing Client for Windows 95 以下 IBMLPRと記しま す。)はMicrosoftWindows95/98/MeではOSの機能としてサポートされていないTCP/IPプロト コルのLPRを使用したネットワーク共有プリンターへの印刷を実現するものです。

対象オペレーティング・システム

MicrosoftWindows95/98/Me

対象プロトコル

TCP/IP

- 対象プリンター
 - IBM 558Xプリンター + LANカードオプション
 - IBM NetworkPrinter12/17/24 + ネットワークカード・オプション
 - IBM InfoPrint20/40/21 + ネットワークカード・オプション
 - IBM 557Xプリンター + APTi社製 NS プリントサーバー

導入手順:

- (1).事前にお使いになるプリンター・ドライバーを導入してください。その際は「ローカ ルプリンタ」としてポートは「LPT1:」で導入しておいてください。
- (2).IBMLPRをダウンロードしてください。適当なディレクトリーに(例:C:¥Temp)保存します。
- (3).保存したプログラム(instlrp.exe)を実行してください。

■ IDスプローラー C.¥Temp フーイル(F) (再生(F)) ま一の	() () ((77) ()	17%00		X
すべてのフォルタ	日 リールロ うい 開いているフォル	レノ(<u>ロ</u>) が:'C:¥Temp'	-	-
	名前		<u>サイズ</u> 798KB	<u>7ァイ1</u> アフリ
▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		797KB		Þ

(4).[Next]ボタンを押します。



(5).プログラム使用同意書をお読みいただいて、条件に同意される場合は[Yes]ボタンを押してください。同意されない場合は残念ながらIBMLPRをご利用いただけません。[No] ボタンを押してインストール・プログラムを終了してください。

	PRINTER SOFTWARE LICENSE		É
OPYRIGH NTERNAT COLLECT NTO NY COMPI BM.	F IN THE ACCOMPANYING SOFTWARE IONAL BUSINESS MACHINES AND/OR IVELY TIBMT). YOU, THE END USE UTER, USE IT FOR ANY PURPOSE OF	("THE SOFTWARE") 1: THIRD PARTIES R. MAY NOT LOAD TH COPY IT WITHOUT A	S OWNED BY E SOFTWARE LICENSE FROM
EFORE US ERMS AND	SING THIS SOFTWARE, YOU SHOULD D CONDITIONS.	CAREFULLY READ THE	FOLLOWING

(6).自動的に導入が進みます。



(7).[Finshi]ボタンを押してください。PCが自動的に再起動します。(再起動なしでお使い いただける場合もあります。)



(8).これでIBMLPRの導入は完了しました。

設定手順:

 (1).スタートメニューより「設定(S)」 「プリンタ(P)」を選択し、プリンター・フォル ダーを表示してください。



(2).設定したいプリンターのプロパティを表示し、「詳細」のタブを選択します。

ј вм 5587-L20 ♀	
□刷先のポート(<u>₽</u>):	ホートの追加の
アロビフリンタボート	▲ ホートの肖明余(D)…
端町にまた19 3F 747 (回): BM 5587-L20	▼ ドライバの追加00
フツンタポートの割り当て(<u>©</u>)	フリンタホートの解除(N)
未選択時(S): [15	秒
送信の再試行時(<u>R</u>): 45	秒
スフールの語気	官山 ホートの設定(Q)

(3).[ポート

の追加(T)]ボタンを押します。

 (4).「ポートの追加」画面で「その他」をクリックし、「IBM LPR Remote Printing Client」を選択して[OK]ボタンを押します。

ホートの追加		? ×
追加するホートの種類を選ん	んでください。 ス:	
 その他(Q) 追加するポートの種類 	5	参照(12)
FX TCP/IP DPU Port IBM LPR Remote Pri LPRINT Print Server Port ローカル ホート	nting Client	
	ОК	<u>++>tu</u>

 (5).「Add IBM LPR Printer Port」画面が表示されますので、「Host Name or IP Address:」の項目にプリンター・サーバーに割り当てられたIPアドレスまたはホス ト名を入力してください。

Add IBM LPR Remote	Printer Port	? ×
Host name or IP add	lress:	<u>K</u>
Printer/Queue name	ŝ	<u>C</u> ancel
PASS	8	Verify Printer Information
Local Ports Default	Remote Port	Timeout (in secs.)
✓ Send banner page ✓ Send data file before	control flag 🦵 Si ore control file	end <u>p</u> lain text control flag v2:30.32

- (6).「Printer/Queue Name:」にプリンター・サーバーが使用するキュー名を入力します。
 •558X用のLANカードオプションIIの場合「pr1」(半角小文字)
 •558X用のLANカードオプションIIIの場合「lpt1」(半角小文字)
 - •NP&IPシリーズのネットワークカードオプションの場合「PASS」(半角大文字)
 - •NS プリントサーバーの場合「pr1」(半角小文字)
- (7).[Verify Printer Information]ボタンを押してください。

	1 OIX			. <u>^</u>	
Host name or IP address:			ОК		
192.168.1.10					
, D'i IO			<u>C</u> ance		
Ipt1		•	⊻erify Prin Informatio	iter n	
Local Ports Rer	note Port	Time	rv out (in sec	:s.)	
Default _ [51:	2	 120		<u> </u>	
Send banner page control	flag 🧖 Si	end <u>p</u> lain I	ext contro	ol flag	
 Send gata file before contri 	ol file		V2	2.30.32	

ッセージが表示されたら接続成功です。[OK]ボタンを押してください。 (10)に進みます。

Printer/Qu	ueue Verification	×
٩	The printer/queue name (Ipt1) is accessable on the remote host G).
	СОК	

(9).下記メッセージが表示されて場合、プリンターのIPアドレス/ホスト名、もしくはキュー名が間違っている可能性があります。また、プリンターがネットワーク接続が 行えていない場合も考えられます。ご確認ください。

-	
X	The printer/queue name (lpt1) is not verified on the remote host (192.168.1.10.
	Connection timed out [10000].

(10).

プリンターのプロパティ「詳細」タブの画面に戻りますので、[スプールの設定 (L)]ボタンを押してください。

(11).「プリンタスプールの設定」画面で「印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処 理を高速に行う(S)」にチェックされていることを確認し、「全ページをスプール してから、印刷データをプリンタに送る(L)」にチェックしてください。また、 「スプールデータ形式(F)」を「RAW」に変更してください。

○ 巨川刷ジョフをスフールし、フ ● 全へい分のデータ	ロゲラムのED刷処 をファール、てから	理を高速に行	行 <u>)(S)</u> つりい如こ送ろの)	
C 1 ^ → > めのデータを	スプールしたら、印	、 にんしり ノンとう 1刷データをつり	/別に送る(4) 🔓	
○ フリンタに直接印刷データ	を送る(<u>P</u>)			
スフ [*] ール データ形式(E):	RAW			
○ このブリンタで双方向通(言態能をサポートす	rる(<u>E</u>)		
○ このブリンタの双方向通(言機能をサホ*ートし	,731, YQ		

(12).[OK]ボタンを押してプリンターのプロパティ「詳細」タブの画面に戻りますので、再び[OK]ボタンを押してプロパティ画面を終了させてください。

以上でLPRによるネットワーク印刷が可能になりました。

また、コマンドプロンプト内でもLPRコマンド互換の「IBMLPR」コマンドが使用できるよう になります。各引数は下記をご参照ください。

📸 MS-DOS ንግጋንግኑ 📃 🗖 🗙
6 x 13 💽 🛄 🖻 🔂 😰 🗗 🗛
Copyright 1997 IBM Corp. All rights reserved
Usage: ibmlpr [-S <server>] [-P <printer>] [-C <class>] [-J <job name="">] [-L <option>] [-O <filter>] [-R <remote port="">] [-T <timeout>] [-D] [-B] [-#<copies>] filename1 filename2 filename(###)</copies></timeout></remote></filter></option></job></class></printer></server>
<pre>S Print server or printer hostname or ip address (The environment variable LPRSERVER may be used instead) P Printer or printer queue name (The environment variable LPRPRINTER may be used instead) C Class name on banner page J Job name on banner page L Option to use for local port [S]trict, [D]efault, [E]xtended The default option is [D] O Filter option: Ascii [f], HPGL, PCL, Postscript, etc [1] The default option is [1] R Remote port to attempt connection on (default is 515) T Timeout value (default is 120 seconds, 0 = INFINITE) D Send data file before control file B Disable the banner control flag (L) By default this flag is sent. # Number of copies (1 to 10) to print (default is 1 copy) filename(s) file(s) to print - may include wildcards (*,'?')</pre>
C:¥WINDOWS>